

山さきやむかひの雲の一むらは淀の河瀬に時雨來にけり

〔山州名跡志乙訓郡〕友岡所名古ニハ作鞆在長丘南四町計山崎街道開田町二町計此所和歌詠笹

〔枕草子十〕をかは

ともをかははさ、のおひたるがおかしき也

〔神樂歌採物歌 篠

此さ、はいづこのさ、ぞとねりらがこしにさがれるともをかのさ、ともをかのさ、○末略

〔日本後紀二十四〕弘仁六年六月癸亥山城國乙訓郡物集國背兩鄉雷風壞百姓廬舍人或被災死

〔山槐記〕治承三年四月廿七日乙卯向善峯別所○中略於物集繩手邊出車女房各乘輿超中山

〔太平記八〕禁裏仙洞御修法事附山崎合戰事

桂河ヲ渡リ河島ノ南ヲ經テ物集女大原野ノ前ヨリ寄タリケル

〔山城名勝志乙訓郡〕訓世和名抄訓世郷在乙訓郡接今上訓世下訓世有二村

〔萬葉集十一〕古今相聞往來歌旋頭歌

開木代來背若子欲云余相狹丸吾欲云開木代來背

右柿本朝臣人麻呂之歌集出

〔萬葉集略解十一〕くせは乙訓郡來背の郷なり

〔東寺百合古文書一〕讓與處分私領采女領島地事

合島壹段者 在下久世郷内牛飼里參拾壹坪○中略

文治元年十一月十五日 瀧口藤原國成判

〔山城名勝志乙訓郡〕羽東郷和名抄云乙訓郡古河村北有羽東師森也

〔後撰和歌集十〕題しらす よみ人しらす